

千曲川源流を遡り、新緑とシャクナゲの

# 甲武信岳山行の記録

記 鳥切昇治



期 日:2015年6月7日(日)～6月8日(月) 三宝山から甲武信岳と富士山

山 域:奥秩父 甲武信岳(2475m)

メンバー:田邊浩二 大和義孝 鳥切昇治

コース:毛木平～千曲川水源地標～甲武信岳～甲武信小屋～三宝山～大山～十文字  
峠～毛木平

## 6月7日(日)天候:晴後曇 往路・毛木平～甲武信岳～甲武信小屋

(往路)大和宅、田邊宅の順に立ち寄り能見台 IC から横横に入る。保土ヶ谷バイパスは渋滞も無く横浜・町田 IC から東名に入る。日曜日とあってマイカーが多い。海老名 JCT で圏央道、八王子 JCT から中央道に入る。双葉 SA で休憩した際、梓山までカーナビをセットする。長坂 IC で一般道に降り、順調に走って川上村を抜けて毛木平に向う。砂利道になり毛木平に近くなると道脇に駐車している車が続く。駐車場が満車の様だ。昨日登った人達

がまだ下りて来てないのだ。駐車場で大和さんが空きスペースを見付けそこに駐車する。

鳥切宅 4:50—大和宅 5:00—田邊宅 5:25—能見台 IC5:33—六つ川料金所 5:41—東名横浜・町田 IC5:51—圏央道海老名 JCT6:00—中央道八王子 JCT6:20—7:15 双葉 SA7:30—長坂 IC7:45—8:50 毛木平駐車場(走行キロ数 約240km)



毛木平駐車場は満車



駐車場から登山道の林道に入る

駐車場から登山道の林道に入る。カラマツ林の明るい林道で新緑の緑が気持ち良い。程なく十文字峠への道を分け、西沢に沿って緩く上って行く。林道の右手に小さな鳥居と社おおやまずみの大山祇神社を過ぎると山道になる。



新緑の中を歩く

鳥のさえずりが絶え間なく聞こえ心地良い。滑滝を過ぎて西沢に架かる木の橋を渡った所の沢の傍で昼食にする。田邊さんからフルーツマト、大和さんからキュウリの差し入れを頂く。重いのに...感謝。休んでいると体が冷え



大山祇神社



滑滝

て寒い位。下山して来る人は左程多く無い。

昼食後、樹林の中を登る。西沢の水量が次第に少なくなり沢音が小さくなって来た。下山する登山者のグループが賑やかに休んでいる場所に着いた。「千曲川信濃川水源地標」



千曲川信濃川水源地標



千曲川源流の湧き水

と書かれた標識が建っていた。左下に湧き水があり沢を流れ下っている。ここが千曲川の源流だ。湧き水は冷たくて美味しかった。

そこから樹林の中の急登が始まる。ジグザグに登る。一頭の雌鹿が登山道の傍まで来て逃げない。人に慣れている様だ。



湧き水が沢を流れ下って行く



稜線の縦走路に出た

い。後で知ったが甲武信岳から此方側のシヤクナゲはハクサンシヤクナゲで、咲く時期は7月上旬～中旬なのだそうだ。

樹林を抜けガレ場の道を登ると甲武信岳

20分程で稜線の縦走路に出た。左へ行く。道脇にシヤクナゲが沢山あるが咲いていな



ガレ場の道を登ると甲武信岳



甲武信岳(2475m)山頂で記念撮影

の山頂に着いた。田邊さんが昨年から登りたいと言っていた甲武信岳。山頂の大きな標柱を挟み三人で記念写真を撮ってもらおう。ガスで眺望が悪く何も見えない。甲武信小屋へ向う。急な坂道を下る。樹林の中に赤い屋根の甲武信小屋が見えた。歴史を感じさせる建物



歴史を感じさせる甲武信小屋



甲武信小屋入口

で今日はここに泊る。今日も宿泊者が多く、一枚の布団に2名だそうだ。屋根裏の天井が低い所に布団がウナギの寝床状にビッシリ敷かれている。こんな日はテントが羨ましい。割

り当てられた布団の所で休む。水、お湯共に有料、夕食は5時半からでカレーライス。お粗末な夕食(失礼?)は久々だ。夕食後、甲武信岳周辺の四季、高山植物、笛吹川東沢行のビデオを見せてもらう。20時消灯。

コースタイム

毛木平 9:15—(10:05～ 10:15 休憩)—(11:05～11:13 休憩)—滑滝 11:28—「源流まで 1.8Km」標識 11:40—木の橋 12:10—(12:12～12:45 昼食)—13:20 水源地標 13:30—13:52 縦走路 13:57—14:26 甲武信岳(2475m) 14:32—14:50 甲武信小屋(泊)

## 6月8日(月)天候:晴 甲武信小屋～三宝山～十文字峠～毛木平・帰宅

まだ4時前だと言うのに騒々しい。オバちゃん達がペチャクチャ話している。窓から外を見ると天気予報に反して晴れている様だ。5時からの朝食は長蛇の列で受け取ったお盆の上はガラ空きで寂しい。夕食に引き続いてお粗末な(失礼?)食事。ご飯だけはおいしかったが、これでは昼までもたないよ...

お蔭で5時半には小屋を出発。小屋の横から甲武信岳の捲き道に入る。樹林の中に朝日が射し込んで清々しい。左程寒くない。縦走路に出て樹林の中を緩く登って行く。

三宝山はシュクナゲの木に囲まれた広い



三宝山(2483m)山頂

から苔むした樹林の中を下る。下り切った所に大きな岩があり標識に尻岩とあった。たしかに割れ目がありおしりの格好をしている。



甲武信岳の捲き道に残雪があった

山頂でシュクナゲは全く咲いていなかった。登って来た道の左手に岩があり、その上から甲武信岳、富士山が良く見えた。三宝山



おしりの格好をしている尻岩

登りに掛かる。樹林の中にお目当てのシャクナゲが咲いているのが見えた。初めて目にする。この先に期待し心が躍る。武信白岩山の左側を捲いて稜線に出る。武信白岩山には登らずに稜線を進む。下りに入ると咲いているシャクナゲが多くなる。この時期に咲いているのはアズマシャクナゲだそうだ。ピ



咲いているシャクナゲが多くなる

ンクの色が濃く鮮やかだ。シャクナゲを見ながら歩く。大山へは左側を捲いて登る。



大山山頂で

い。鎖場になっている岩場を下る。シャクナゲが



シャクナゲのトンネルを通る



大山(2270m)山頂

川上村の白いビニールをかけたレタス畑が見える。大山山頂のシャクナゲはほとんど咲き終えていたがここからの眺望は素晴らしい。



大山山頂から岩場を下る

一杯咲いており、十文字小屋まで目を楽しませてくれた。十文字小屋の周りのシャクナゲは裏手を除いて咲き終えていた。新しい立派なトイレが小屋の前に建っていて時計

まで架かっている。

天気は崩れる様子も無いので腹ごしらえをしてから下山にかかる。十文字峠から左の



十文字小屋と立派なトイレ(左)



見事なアズマシャクナゲ

道に入り十文字山の裾を捲く様に緩く登って行く。道はクッションが良く心地良い。

下りになり八丁坂の頭から右に折れジグザ

グの急坂を下る。10名程のグループが楽しそうに元気良く登って来て挨拶を交わす。沢筋まで一気に下る。緑が鮮やかな林の中を沢筋に沿って下る。西沢に架かる立派な橋を渡り、昨日歩いた林道に出ると毛木平の駐車場までは直ぐだった。

無事に到着しお疲れ様と握手を交わす。

コースタイム

甲武信小屋 5:30—稜線 5:41—6:12 三宝山(2483m) 6:25—尻岩 7:07—7:35 武信白岩山鞍部 7:40—8:30 大山(2225m) 8:40—9:17 十文字小屋 9:40—(10:40~10:45 休憩) ~11:20 毛木平

(復路) 来る時に野辺山から遠回りした様なので道路標識に従って走り国道に出た。野辺山の「最高地点」と言うレストランで昼食、手打ちそばを食べる。須玉 IC 手前に日帰り温泉があると言うので行ったが、何となく気乗りせず入るのを止め、須玉 IC へ向う。

双葉 SA でトイレ休憩後中央道を走り、小仏トンネルの渋滞も無く八王子 JCT から圏央道、海老名 JCT から東名に入る。東名も空いていて横浜・町田 IC を出て、田邊宅、大和宅に寄り通勤ラッシュ前に無事自宅に帰着いた。

毛木平駐車場 11:33—(12:10~12:50 野辺山で昼食)—中央道須玉 IC 13:30—13:40 双葉 SA 13:53—東名横浜・町田 IC 15:00—能見台 IC 15:35—田邊宅 15:40—大和宅 16:10—16:20 鳥切宅

以上